2025年10月17日

各　　位

会 社 名　株式会社ヤマダコーポレーション
代表者名　代表取締役社長　　山田　昌太郎
（コード番号　6392　東証スタンダード市場）
問合せ先　取締役管理本部長　池原　賢二
（TEL 03-3777-5101）

（開示事項の経過）不正アクセスによるシステム障害への対応について（復旧のお知らせ）

当社は、2025年6月26日に公表いたしました「サイバー攻撃によるシステム障害についてのお知らせ」のとおり、第三者の不正アクセスにより当社社内サーバが侵害された影響で主要なシステムが停止しておりましたが、この度復旧作業が終了し主要なシステムの通常運用を再開いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 経緯等

・2025年6月24日に社内システムに動作不良が発生、社内調査の結果、第三者による不正アクセスが確認されたため、速やかに社内PCおよびサーバをネットワークから遮断等の措置を講じるとともに、外部専門家の協力のもと、侵害状況等の調査を開始しました。

・2025年7月1日には、基幹システムを用いない方法で業務を概ね再開しました。

・外部専門家の協力を得た調査の結果、VPNを経由した不正アクセスにより社内サーバおよび一部の社内PCが侵害され、ランサムウェアが実行されたことにより社内サーバ内の一部のデータが暗号化されたことが判明しました。

・この調査結果等を踏まえて、ネットワークやサーバ環境等の再構築を行いました。

・2025年9月1日に基幹システムの再セットアップが完了、その後、基幹システム停止中の業務に係る受発注・生産・出庫・販売等の各種作業データの入力を行いました。

・2025年10月1日より基幹システムの通常運用を開始し、10月14日よりその他の主要なシステムの通常運用を概ね再開しました。

2. システム復旧対応および対策等について

サーバについては、初期化を実施した後にOS等を再インストールし、新たな環境を構築した上でバックアップデータを戻す等の対応を行いました。社内ネットワークについては、ファイアウォールを最新化した上での再設定等を実施し復旧を行いました。また、全てのPCにおいて初期化を実施し、OSのクリーンインストールや、より強度あるウィルス対策ソフトのインストール等を行いました。

今後、多要素認証の導入による防御策の強化やセキュリティイベントの監視体制強化等を図ること、また、全社員を対象としたセキュリティ教育や訓練を実施する等、全社を挙げて再発防止に努めてまいります。

なお、現時点におきまして、社内サーバ内の一部のデータが暗号化されたことによる情報の漏えいや、漏えいした情報が不正に利用された等の被害は確認されておりません。

3. 今後の見通し

現時点におきまして、本事案の影響による業績予想の修正はございません。今後、精査の上、開示すべき事項が明らかになりました場合には、速やかに開示を行います。

お取引先様、株主の皆様をはじめ、関係者の皆様に多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことをあらためて深くお詫び申し上げます。

以　上